

ローグ アサシン

2007(平成19)年10月13日鑑賞(ホクテンザ2)

★★★



監督=フィリップ・G・アトウェル/出演=^{ジェット・リー}李連杰/ジェイソン・ステイサム/石橋凌/デ
ヴォン青木/ジョン・ローン/ケイン・コスギ/ルイス・ガスマン/テリー・チェン/アン
ドレア・ロス/ナディーヌ・ヴェラスケス/ステフ・ソン (アスミック・エース、東映配給
/2007年アメリカ映画/103分)

第3章

ヒネリの効いた設定・ラストが新鮮！

……^{ジェット・リー}李連杰が伝説のクールな殺し屋に扮し、FBI捜査官に扮するジェイソン・ステイサムと米中対決を……。同時にサンフランシスコを舞台に、日本ヤクザと中国マフィアの対決が描かれるが、私には多少違和感が……。アッと驚く最後の真相説明がこの映画のポイントだから、それまで根気よく興味をもち続けることが大切！

米中対決を先取り……？

2007年10月17日、ブッシュ大統領がチベットのダライ・ラマ14世に最高勲章「議会金メダル」を授けたというニュースは、中国を大きく刺激した。それに激怒した中国が、もしアメリカにミサイルを発射したら……？

そんなバカなことが現実にかかる可能性は0%だが、世界の憲兵たる地位を次第に低下させているアメリカと、軍事力を着々と増強している中国との間に、将来米中対決が起きる確率は何%……？ この映画における、世界に名をとどろかせる伝説の殺し屋ローグ(^{ジェット・リー}李連杰)と、ローグによって相棒のトム・ローン(テリー・チェン)とその妻ダイアン(ステフ・ソン)が殺されたことで復讐を誓うFBI捜査官のジョン・クロフォード(ジェイソン・ステイサム)の対決を見ていると、将来起こるかもしれないそんな米中対決の姿がありありと……？

その場合、日本はどう絡むの……？

そんな十数年あるいは数十年後の米中対決の姿を想定した時、日本はそれにどう絡

んでいるのかというと、それはきわめて頼りないもの……？ すなわち、少子高齢化が進んで人口が大きく減少するとともに、経済成長もなく、国民の知力も体力も低下する一方。そして、政治オンチ、外交オンチは一層強まり、自国の進むべき方向すら明確に決めることができず、ただ米中対決の動きを見て右往左往するばかり……。私にはどうしてもそんな姿しか思い浮かばないが……。

そんな縁起の悪い想定がこの映画にも登場する。すなわち、ヤナガワ組の組長シロー・ヤナガワ（石橋凌）は、アメリカのサンフランシスコ進出に意欲を燃やすヤクザだが、その構成員（ケイン・コスギ）やアメリカ支部のスタッフ、そしてシローが最も信頼する娘のキラ（デヴォン青木）も、カッコはつけているものの、見るからに知恵足らずで、ローグの策略の前にあっさりとダウン……。もっとも、ローグの前にやられてしまうのは、シローとサンフランシスコでの覇権争いをしている中国マフィアのリー・チャン（ジョン・ローン）も同じだが、こちらは中国人同士の内部抗争……？

チタニウムへのこだわりは……？

一流の殺し屋は一流のものを身につけているのが当然で、それが男の美学……。そうは言っていないものの、この映画でローグはそんな思想を明確に主張し、貫いている。それは第1に服装に表れ、第2に車に表れ、そして第3に商売道具である拳銃のチタニウムの薬莢に表れている。私は全然知らなかったが、パンフレットによると、薬莢として通常用いられるのは黄銅だが、それよりも軽く強度が強いのがチタニウムとのこと。しかし、値段が高いからチタニウムの薬莢は大変珍しいらしい。

ジョンと相棒のトムがローグを追いつめ、血祭りにあげたのは、ローグのチタニウムの薬莢を発見したおかげだったが、今、トムとその妻ダイアンが自宅で襲われて殺され、家ごと焼かれてしまった跡にチタニウムの薬莢が残されていたのは、一体なぜ……。現場に急行したジョンには、その理由は即座に理解できたが……。

今や、整形手術によって怪人20面相は容易に……

私が小学生の頃読みふけたのが、明智小五郎や怪人20面相の探偵小説。つまり、今から50年近く前は、怪人20面相になるためには変装のテクニクが大変だったわけだ。しかし、プチ整形が女性にとって当たり前になるほど（？）、整形の技術が進歩

した今では、顔の整形によって全く違う人物になりきることが容易らしい……？

したがって、過去の殺し歴をいくらたどっても、その顔を特定できないのがローグだということから、恐れいる。もっとも、いくら整形によっても変えられないのが目だと、この映画でジョンはさかんに主張しているが、目の色だって自由に変えることができるのでは……？

寡黙が似合うジェット・リー……

あらゆる武術に卓越した能力をもつ俳優ジェット・リーは、近時『HERO（英雄）』（02年）、『ダニー・ザ・ドッグ』（05年）、『SPIRIT／スピリット』（06年）等での特徴を発揮してきたが、この『ローグ アサシン』は彼の武術やカンフーの腕前をみせる映画ではなく、クールな殺し屋と FBI 捜査官との知能戦がメインで、アクションは二の次……？

ジャッキー・チェンは、カンフー映画には珍しくおしゃべりだが、武術、カンフー映画の達人はブルース・リーをはじめクールで寡黙なのが原則……？ それは、ゴルゴ13をはじめとする一流の殺し屋だって同じだから、ジェット・リー扮するローグはきわめて寡黙。したがって、極端に少ないセリフの中で心の動きを表現しなければならないから、ジェット・リーは大変。しかし、長年そんな役を演じてきているためか、ジェット・リーにはそんな寡黙な役がピッタリ……？

ホントに日本びいき……？ それとも……？

最初に書いたようにこの映画は米中対決がメインで、そこに日本のヤクザと中国マフィアが絡むもの。日本のヤクザがサンフランシスコで中国マフィアと覇権争いをするほどの実力をもっているとすれば、ある意味で喜ばしいが、それは現実にはありえず、中国マフィアの方が圧倒的に力は上のはず……？ しかしその点、この映画では強固な日米同盟の国アメリカは、日本に対して大きくサービスしてくれている。すなわち、ヤナガワ組の組長シロー・ヤナガワは日本刀を操る剣豪だし、娘のキラも男顔負けの知恵と武術を誇っているらしい。そのうえ、アメリカ支部の組員たちが使う日本料理店「白湯茶房」は立派で、日本文化の紹介にかなりのこだわりを……。さらに、ジョンをして「日本のヤクザと対峙するのなら、FBI 捜査官も日本語を勉強しろ」とまで言わせたうえ、ジョン自身もあるシーンでは日本語を……。

パンフレットでは、これらについて「心くすぐる不思議な日本語」と題して、かなり高く評価しているが、どうも私の目にはこのような日本ヤクザの扱い方は奇妙に映り、ホントに日本びいき……？ それとも……？ と思ってしまったが……。

一流の殺し屋は腕だけではなく、頭も……

この映画では、中盤から「俺には主人はいない」と断言するローグが、中国マフィアのリーの用心棒として雇われながら、他方で日本ヤクザのシロー・ヤナガワの仕事も請け負うことによって、うまく漁夫の利を得ようとしている姿が少しずつ見えてくる。そして映画は、そんなローグの殺し屋というよりも策謀家としての優れた知能を際立たせていく。やはり、一流の殺し屋は腕だけではなく頭も……。

ところが、そんなローグがリーを平然と殺しながら、その妻 MARIA（ナディーン・ヴェラスケス）を殺さなかったのは一体なぜ……？ まさか、その美貌に参ったからではないだろうが、そのワケは非常に大切。したがって、その点についてはよく考えてもらいたいもの。そしてそこらあたりから、少しずつローグの動きや狙いの真相が、あなたにも見えてくるはず……？

ちなみに、シロー・ヤナガワを裏切ったことがバレたローグは一度危機に陥るが、そんな程度で負けるローグではないことは明らか。危機を脱したローグと一流の剣豪シロー・ヤナガワとの対決は……？

ジョンとローグの知能戦の展開は……？

ジョンには妻ジェニー（アンドレア・ロス）と2人の子供がいるが、トム夫婦はトムだけではなく妻のダイアンまで殺されたのだから、自宅に警備員が張りつくような状況になると、ジェニーがトム夫婦と同じように自分たちもローグに襲われるのではないかと心配するのは当然。また、今やローグを追いつめることしか生きる目標がなくなっているように見える夫のことが心配。

そんなジョンに情報を提供し、協力するのがベニー（ルイス・ガスマン）。逆に、中国マフィアから買収されてさまざまな情報を提供していたという、サンフランシスコ市警の悪徳警察官がアンドリュース（ジョン・ノバーク）。このように、アメリカの裏社会にはたくさんのヤミの部分があることがよくわかる。ある日、ジョンのケータイに入ってきた情報によって、ジョンは現場に駆けつけたが、その情報提供者がロ



©2007 Lions Gate Entertainment, All rights reserved

第3章

ヒネリの効いた設定・ラストが新鮮！

ーグだと確信したジョンは、そこではじめて「こいつがローグだ」と確信する男と出会うことに。

しかし、現場にはローグが犯罪に関与したと疑うに足る相当な証拠が存在しなかったから、FBIがその男に手出しできなかったのは当然。そんな知能合戦と無念の対決を経て、いよいよジョンとローグの対決はクライマックスへ……。

ローグは一体ダレ……？ それ焦点！

前述のように、ローグは日本ヤクザや中国マフィアの間をうまく渡り歩く知能犯。その結果、遂にリーは日本ヤクザの集まる食事会の席を急襲することに。そんな情報を入手したジョンたち FBI も直ちに現場に急行したため、ここに三つ巴の抗争が……。

そんな中、突然狙撃ライフルの弾丸が次々と……。これは一体誰の手によるもの……？ ここに遂にジョンとローグの最後のクライマックスの対決が……。果たして、ジョンはローグを追いつめることができるのだろうか……？ また、ジョンは殺された相棒トムの復讐を遂げることができるのだろうか……？

この最後の対決には、きっとあなたがアツと驚く真相が待ち受けているから、決して居眠りをしたりすることなく注目を！ なるほど、そういうことだったのか……？

2007(平成19)年10月20日記